

公開シンポジウム

# 家族の視点から見た 少子高齢社会

——時間と空間の広がりの中で

主催:

日本学術会議社会学委員会少子高齢社会分科会  
・家族問題研究会・慶應義塾大学21COE-CCC

日時:2007年7月7日(土)

13:30-17:00

場所:慶應義塾大学

三田キャンパス東館6階  
G-SEC Lab

- JR山手線、京浜東北線  
田町駅下車(徒歩約8分)
- 都営地下鉄浅草線  
都営地下鉄三田線  
三田駅下車(徒歩約7分)
- 都営地下鉄大江戸線  
赤羽橋駅下車(徒歩約8分)

入場無料

シンポジスト:

落合恵美子氏(京都大学教授)

船橋恵子氏(静岡大学教授)

小川全夫氏(山口県立大学教授)

袖井孝子氏(お茶の水女子大学名誉教授)

司会:

山田昌弘氏(東京学芸大学教授)

宮本みち子氏(放送大学教授)

少子高齢化の波は、日本だけでなく経済発展の著しい東アジア諸国でも急ピッチで広がっている。少子高齢化は、地域社会を変え、世代のあり方を変え、国の姿を変えつつある。それが何を意味するのか、その先に何が待っているのかを、家族の立場から、歴史的流れと地域的広がりの中で見ていく。



慶應義塾大学21世紀COEプログラム

事務局  
〒108-0073  
東京都港区三田3-1-7  
三田東宝ビル6階

TEL 03-5427-1045  
FAX 03-5427-1046  
E-mail: shomuccc@law.keio.ac.jp  
(事務局庶務担当)

